

平成 29 年度 ワーキング(地域移行精神 G 成年後見周知ワーキング)  
検討状況報告書

平成 30 年 2 月 16 日 更新

部会構成メンバー	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神医療センター 松尾</li> <li>・うらら長岡 後藤</li> <li>・社会福祉協議会 諸橋</li> <li>㊦障害者相談支援センターとちお 田代</li> <li>㊦障害者基幹相談支援センター 齋藤</li> <li>・田宮病院 渋谷</li> <li>・長岡地域振興局 本間</li> <li>㊦…事務局</li> </ul>	
会議開催経過	議題・検討内容
【第 1 回】 平成 29 年 11 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの経過の振り返り</li> <li>・社会福祉協議会権利擁護支援課の業務内容について共有</li> <li>・ワーキングの内容と今後のスケジュールの決定</li> </ul>
【第 2 回】 平成 30 年 2 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のワーキングの振り返り</li> <li>・来年度の活動方針について</li> </ul>
取組 今年度 の方針	<p>成年後見鮮度の周知ができるように、長岡市社会福祉協議会にできた権利擁護支援課とタイアップして研修会を検討する。</p> <p>➡権利擁護支援課が開催する研修会は、市民全体を対象にしなくてはいけないため、今年度タイアップしての研修会は実施できないことになった。</p>
（全体会・進捗・成果 必要な内容） 運営会議へ特に報告が	<p>【第 1 回】</p> <p>○ワーキングの内容と今後のスケジュールの検討</p> <p>➡その研修会で、成年後見ワーキングの意向を取り入れてもらう。</p> <p>➡具体的には、病院と施設におこなった身元引受人に関するアンケート結果の報告と、身元引受人に求められている役割を成年後見がどこまで担えるのかを伝えていく。</p> <p>➡社会福祉協議会とワーキングが協働で実施。</p>
	<p>【第 2 回】</p> <p>○今年度のワーキングの振り返り</p> <p>➡振り返り・評価シートをもとに、今年度のワーキングの振り返りをおこなった。</p> <p>○来年度の活動方針について</p> <p>➡今年度実施できなかった研修会を実施する。</p> <p>➡部会でおこなった成年後見制度に関するアンケートに協力いただいた機関を中心に、「アンケート結果の報告」「支援者が求めている役割を、成年後見人ができるかどうかを知ってもらう」「具体的な手続き方法」を内容に取り入れた研修会をおこなう。</p>

<p>今後の検討の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者基幹相談支援センターの虐待・権利擁護研修とタイアップできるとよい。障害者基幹相談支援センターと打合せ、検討をおこなう。</li> <li>・ワーキングのゴールをきちんと決めたいので、上記研修会を実施する。</li> </ul>
<p>運営会議への伝達事項等</p>	